

印西地区消防組合職員が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

(患者の概要)

(1) 30代 男性 救急隊員

(2) 症状・経過

4月26日(日) 【勤務】救急隊員として勤務

4月27日(月) 【非番】倦怠感があり、体温37.2度、後に平熱に戻る。

4月28日(火) 【週休】午後8時頃から「気分不快」があったが体温は35.8度。

4月29日(水) 起床後、倦怠感、頭重感があり体温38.0度、勤務の予定であったが休暇とし医療機関を受診する。

(消防署対応) 本人より連絡があったため、署内消毒を実施。勤務予定職員の体温計測を指示し、全員発熱異常なしを確認する。

4月30日(木) 医療機関でPCR検査を実施する。症状は継続している。

5月1日(金) PCR検査の結果、陽性を確認。

(3) 行動歴等について

発症(4月27日)前、2週間の行動歴としては、4月16日、18日、20日、23日の4日間、勤務しているが、体調に異常はなかった。

(4) 接触者等について

発症前2日間の間で、26日に1件の救急出動(不搬送)をしているが、勤務中は常時マスク着用、救急出動時は感染防止衣等を装着し、感染防止に努めている。

また、近位での接触者と思われる職員については、自宅待機を指示して経過観察をしている。今のところ体調不良者はいない。

(5) 今後の対応について

今後の消防業務につきましては、保健所の指示・指導に従って適切に対応するとともに、消防体制に支障が生じないよう取り組んでまいります。